



島根大学学術情報リポジトリ

SWAN

オープンアクセスで島根大学の 研究教育成果を世界に発信!

Shimane University Web Archives of Knowledge

<http://ir.lib.shimane-u.ac.jp/>



目的

島根大学の研究教育の成果物を蓄積・恒久的に保存し、世界へ向けて無償で発信するインターネット上のデータベースです。オープンアクセスという新たな学術コミュニケーションを構築し、島根大学の社会的責任を果たすとともに地域社会への貢献を推進します。

- 1 研究教育成果のショウウィンドウ化
- 2 ブランドイメージの向上
- 3 恒久的URLによる永続的なアクセスの保証



対象となる成果物

登録する研究教育の成果物は、本学に在職する職員や大学院生の皆様が作成した下記のコンテンツです。他機関へ転出、卒業された場合でも継続して公開を行います。

- | | | | |
|--------|------------------------|------|---------|
| 学術雑誌論文 | 学位論文 | 紀要論文 | 研究成果報告書 |
| 図書 | 学術関連会議資料(会議録・予稿集・発表資料) | | |
| 技術報告書 | 一般雑誌記事 | など | |

公開の範囲

コンテンツ毎に、公開の範囲を【学外公開】と【学内限定公開】に設定することができます。【学外公開】では、オープンアクセスを実現しCiNii ArticleやGoogleなどの検索エンジンの検索対象となります。【学内限定公開】では、イントラネット上に公開し、学内からのみ閲覧できます。

著作権について

海外電子ジャーナルの高騰を背景に論文を執筆した著者の権利は見直され、国内でもその動きは波及しています。多くの場合、出版社に譲渡される著作権ですが、海外大手出版社では、出版後に猶予期間を設ける等して著者最終稿 (ie. Final draft post-refereeing) を著者個人のWebサイト、もしくは著者が所属する機関のリポジトリに公開することを認めています。SWANで公開するにあたり、出版社許諾情報は附属図書館で調査・確認します。ただし、共同執筆された場合は、共著者の許諾も必要となります。共著者の許諾はあらかじめ執筆者の方にとって頂くようお願いいたします。

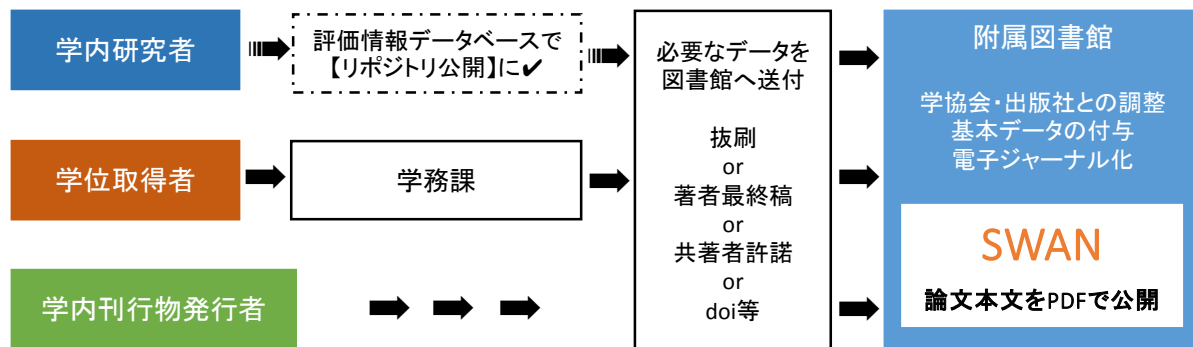
教員情報検索システムとの連携

島根大学教員情報検索システムの「研究活動」の項目において連携を行っており、公開された論文にSWANへのリンクを設けることができます。また、事前にSWANで論文を公開することによって、評価情報データベースの入力が簡便に行えます。





成果物の公開までの流れ



和文誌に掲載された論文の場合

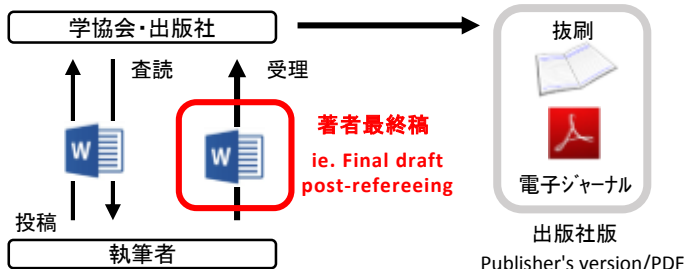
1. **抜刷**をご用意ください。(掲載誌によっては著者最終稿をお願いする場合があります。)
2. 共著者の許諾をあらかじめ得てください。(許諾方法はお任せします。)
3. 提供先(松江キャンパス附属図書館コンテンツ担当)へ抜刷を学内便でお送りください。

欧文誌に掲載された論文の場合

1. **著者最終稿 (ie. Final draft post-refereeing)**をご用意ください。(最終稿でないと公開できない場合があります。)
2. 共著者の許諾をあらかじめ得てください。(同上)
3. 提供先(cat@lib.)へ最終稿を添付の上、論文情報をメールしてください。

著者最終稿について

Elsevier社やSpringer社の場合は、WordやPowerPoint等で投稿された原稿となります。また、投稿時からレイアウトの指定がされている雑誌もありますので、ページ付けの有無を基準とし、不明な場合は図書館へご相談ください。



オープンアクセス論文の場合 (J-Stage, CiNiiオープン, PLoS One, Cell Reports, etc...)

1. 共著者の許諾をあらかじめ得てください。(同上)
2. **doi等のURL**を提供先(cat@lib.)へメールしてください。

お問い合わせ・成果物の送付先

附属図書館コンテンツ担当(松江キャンパス)
内線 (9)2730 cat@lib.shimane-u.ac.jp